

福島市花観光振興計画【概要版】

1. 計画の趣旨

- ❖ 「花」には、その時にしか見ることでできない表情があり、その一瞬の美しさや儚さが、私たちに対して「感動」や「安らぎ」をもたらしてくれます。
- ❖ 本市には、花見山をはじめとして、花ももの里や花やしき公園、信夫山、大森城山公園など、数多くの花の名所があります。また、クマガイソウやツツジ、フジ、アヤメ、アジサイ、ハギ、高山植物など、夏から秋にかけても多様な花々を楽しむことができます。
- ❖ 県内外から訪れる観光客の方々に、本市の「花」が持つ魅力を最大限に楽しんでいただくため、本市の『観光のシンボル』として、「花」を活用した観光振興に取り組んでいきます。
- ❖ 本計画では、今後の花観光の方向性と具体的な取り組みを示しています。

2. 計画期間

7年間(平成31年度から令和7年度まで)



3. 花観光の方向性

花見山と豊かな花の資源を活用した花観光の推進

- ❖ 県内外から訪れる観光客の方々が、本市の豊かな「花」に触れることで、「感動」を受け、「安らぎ」を感じ、本市の観光に満足することができるよう、豊かな花の資源を活用していきます。
- ❖ 市民自身が、本市の花を楽しみ・親しみ・つくすることで、花観光の発展と地域づくりにつなげていきます。

4. 数値目標

(1) 花観光入込数 令和2年45万人

⇒令和2年の花観光入込数45万人を目指します。なお、入込数の計測にあたっては、現在の計測地点の見直しを図ります。また、上位計画の見直しに合わせ、令和3年以降の目標値を設定します。

(2) 各花観光スポットの満足度 令和7年90%

⇒各花観光スポットを訪れた方の満足度90%を目指します。満足度を指標とすることにより、担い手のモチベーション向上や諸課題の把握、新たな取り組みの検討等につなげていくことができます。

◎花観光全体、花見山、花観光スポットの3つに分けて取り組みを整理しています。
◎市内周遊の仕組みづくりや効果的な情報発信等を実施しながら、本市の花観光を推進していきます！！

5. 具体的な取り組み

花観光全体

1. オール福島でつくる「ふくしま花回廊」

- No.1 花観光会議の設置 **重点**
- No.2 見頃が長い「ふくしま花回廊」 **重点**
- No.3 市内周遊の仕組みづくり **重点**

2. 効果的な情報発信

- No.4 ターゲットを意識した情報発信 **重点**
- No.5 情報の一元化 **重点**
- No.6 事前に見頃時期が分かるような工夫
- No.7 見頃時期のリアルタイムでの情報発信 **重点**

3. 新たな花観光の創出

- No.8 福島市の花を活用した体験の実施
- No.9 盆栽を活用した観光振興
- No.10 温泉と組み合わせた花観光
- No.11 花観光と広域連携

4. 市民に対する“花のまち”の意識醸成

- No.12 市民向けの情報発信 **重点**
- No.13 市民の来訪意欲の向上
- No.14 花観光の担い手として活動
- No.15 児童・生徒における地元ファンづくり
- No.16 「ふくしま花回廊」のイメージ構築 **重点**

桃源郷“花見山”

1. 受入環境の質の向上

- No.17 飲食の充実
- No.18 花見山限定の土産品等の販売
- No.19 バリアフリー化の推進 **重点**
- No.20 インバウンド対応の推進 **重点**
- No.21 おもてなしの向上
- No.22 花見山及び花見山周辺の魅力向上

2. 市内周遊の仕組みづくり

- No.23 花見山観光案内所での分かりやすい情報発信
- No.24 事前PRの実施
- No.25 市内飲食店・小売店への周遊

3. 原風景の維持

- No.26 花卉農家への支援 **重点**
- No.27 休耕地への植栽
- No.28 長期的な視点に立った原風景の維持 **重点**

4. 市民がつくる桃源郷“花見山”

- No.29 児童・生徒の学習の場として活用 **重点**
- No.30 市民が花見山に接する機会の創出



個性豊かな“花観光スポット”

1. 各花観光スポットの取り組み

- No.31 各花観光スポットでの取り組み強化 **重点**

2. ターゲットを意識したPR

- No.32 ターゲットを意識した情報発信 **重点**

3. アクセスの向上

- No.33 二次交通の整備
- No.34 分かりやすいアクセス案内

4. 受入環境の整備

- No.35 受入環境の整備

